

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

会社名	株式会社エーゼット
所在地	大阪市鶴見区茨田大宮 1-7-59
担当者	営業部
電話番号	06-6915-3501
FAX 番号	06-6915-1202
緊急連絡先	住所に同じ
作成日	2015/04/24
改訂日	2018/04/10

製品名：コメリ オイルスプレー

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

可燃性、引火性エアゾール

区分 1

健康に対する有害性

皮膚腐食性及び刺激性

区分 2

生殖毒性

区分 1A

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

区分 3(麻酔作用、気道刺激性)

※記載のない項目は「区分外」、「分類対象外」、「分類できない」のいずれかである

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報

H222: 極めて可燃性又は引火性の高いエアゾール

H229: 高圧容器

H315: 皮膚刺激

H360: 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

H335: 呼吸器への刺激のおそれ

H336: 眠気又はめまいのおそれ

注意書き

応急措置 p.1 に記載

取り扱い p.2 に記載

保管 p.2 に記載

廃棄 p.3 に記載

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別

混合物

成分

石油系溶剤(20～30%)、鉱油(10%未満)、添加剤(5%未満)、
噴射剤(LPG)(60～75%)

C A S N o .

企業秘密のため非公開

国連番号及び国連分類 1950、クラス 2.1

4. 応急措置
- 吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。必要なら医師の手当を受ける。
- 飲み込んだ場合：口をすすぐ。無理に吐かせない。医師の手当を受ける。
- 眼に入った場合：水でよく洗う。コンタクトレンズを装着している場合固着してなければ外す。十分、洗浄後、医師の手当を受ける。
- 皮膚にかかった場合：水と石けんで十分、洗う。衣類が濡れた場合、直ちに着替える。濡れた衣類を再着用する場合は洗濯する。
- 腫れ、痛みが生じる場合、医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置
- 消火方法：速やかに容器を安全な場所に移す。
- 消火に棒状の水を使用してはならない。
- 初期の消火には下記の消火剤を用いる。
- 消火剤：霧状強化剤、泡、粉末、炭酸ガス、

6. 漏出時の措置
- 保護具（呼吸用保護具、化学防護服、手袋、長靴、眼鏡、マスク等）を着用する。
- 風上から作業する。
- 砂、おがくず、ウエス、新聞紙等に吸い込ませて、回収する。
- 土壌、河川、湖沼、海域、下水道等に流入しないように注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意
- 取り扱い：関係法令の定めるところによるほか、以下の点に注意する。
- 製品の使用中、飲食および喫煙しない。
- 熱、火花、火炎、高温のものから遠ざける。
- 必要に応じて呼吸用保護具、保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用する。
- 屋外または通気性が良い場所で使用する。
- 常温で取り扱い、その際、蒸気の吸入、原液との接触に注意する。
- 使用後は手洗いを十分する。
- 使用中も水分、異物が混入しないよう、できるだけ密閉する。
- 保管：屋内の直射日光が当たらない涼しい場所で保管する。
- ふたを必ず密閉する
- ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触、同一場所での保管を避ける。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	日本産業衛生学会	ACGIH(TLV-TWA)
鉱油	設定されていない	3mg/m ³	5mg/m ³

- 設備対策 排気装置を設けるか通気性を良くする。
- 身体洗浄、うがいができる洗浄設備を設置する。
- 呼吸用保護具 必要であれば防毒マスクを着用する。
- 保護眼鏡 必要であれば着用する。
- 保護手袋 長時間、または繰り返し接触する場合、耐油性のものを着用する。
- 保護衣 長時間にわたって取り扱う場合、または濡れる場合には耐油性の長袖作業服等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質
- 外観等 黄褐色透明液体
- 揮発性 あり
- 密度 約 0.80g/cm³(15℃)

溶解度	水に不溶
引火点	46℃以上（原液）
流動点	データなし
発火点	データなし
爆発限界	1.0～7.0%(推定値)

10. 安定性及び反応性

可燃性	あり
酸化性	なし
安定性	安定
反応性	強酸化剤との接触を避ける。

11. 有害性情報

急性毒性	経口	LD ₅₀ >5,000mg/kg（ラット）
	経皮	LD ₅₀ >5,000mg/kg（ラット）
	吸入（ミスト）	LC ₅₀ =5mg/L(4h)（ラット）
皮膚腐食性、刺激性	混合物の分類に基づき危険有害性区分を分類した。	
眼刺激性	有用なデータなし。	
慢性毒性	有用なデータなし。	
発がん性	使用している基油は高度精製基油であり、IARC ではグループ 3 に分類。（人に対する発がん性について分類できない） EU による評価：発がん性物質としての分類は適用される必要はない。	
感作性	有用なデータなし。	
変異原性	有用なデータなし。	
催奇形性	有用なデータなし。	
生殖毒性	混合物の分類に基づき危険有害性区分を分類した。	

12. 環境影響情報

魚毒性、蓄積性、分解性：有用なデータなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物処理法に従って自ら処理するか、産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合、そこに委託して処理する。

14. 輸送上の注意

容器に漏洩、破損のないことを確かめ、荷崩れを起こさないよう確実に積み込む。
関連法令に従った措置も講じる（品名、数量、火気厳禁の表示、消火装置の設置
積み重ねの高さは 3m 以下にする等。）。
第 1 類及び第 6 類の危険物及び高圧ガスと混載しない。

15. 適用法令

消防法・・・・・・・・・・第 4 類第 2 石油類 危険等級Ⅲ
 国連番号及び国連分類・・・・・・・・1950、クラス 2.1
 水質汚濁防止法・・・・・・・・・・油分排出規制 5mg/L（n-ヘキサン抽出分として）
 下水道法・・・・・・・・・・鉱油類排出規制 5mg/L（n-ヘキサン抽出分として）
 海洋汚染防止法・・・・・・・・・・油分排出規制（原則禁止）
 労働安全衛生法・・・・・・・・・・通知対象物：鉱油、ブタン
 表示対象物：鉱油、ブタン
 PRTR 法・・・・・・・・・・非該当

16. その他

参考文献

1. 化学品の分類及び表示に関する世界調和システム(GHS)改訂 6 版（2015）
2. 日本規格協会 JIS Z 7253:2012、JIS Z 7252:2014
3. 独立行政法人 製品評価技術基盤機構(nite) [GHS 関連情報]
4. 各原料の SDS

注意事項

この安全データシート(SDS)は入手可能なデータをもとに通常取り扱いを
想定して作成したものです。
SDS は安全の保証を約束するものではありません。
取扱者は状況に応じて使用してください。
SDS の内容は新たな知見により予告なく変更することがあります。
